

キリスト教教理入門

1. 神学をすること
2. 神の啓示
3. 神の性質
4. 神のみわざ
5. 人間
6. 罪
7. キリストの人格
8. キリストのみわざ
9. 聖霊
10. 救い
11. 教会
12. 終末

第九部 聖霊論

- 28章 聖霊の人格
- 29章 聖霊のみわざ

第28章 聖霊の人格

1. 聖霊の教理の重要性
2. 聖霊を理解することの難しさ
3. 聖霊の性質
4. 聖霊の教理の意味合い

序

1. 研究主題を教理的文脈の中に位置づける
2. 三位一体のメンバーの働きに焦点

1. 聖霊の教理の重要性

1. 特別な重要性 - いくつかの理由
2. 聖霊の働きにより卓越した時期
3. 今日の文化 - 経験的なものに強調

2. 聖霊を理解することの困難さ

1. 他の教理より不完全 - 混乱
2. 具体的イメージの欠如
3. 聖霊の奉仕の性質
4. 20世紀後半 - かなりの論争

3. 聖霊の性質: a. 聖霊の神性

1. 聖霊の性質
2. 聖霊と神についての言及 - 交換可能
3. パウロの議論 - 聖霊と神 - 交換可能
4. 聖霊の資質 - 神の属性
5. 聖霊の力 - 新約で卓越
6. 聖霊の永遠性
7. 聖霊の働き - 神に帰する働き
8. 聖霊の役割 - 人間の上・内の霊的働き
9. 聖霊の働き - 聖書の形成
10. 聖霊の神性 - 父と子と等しい

3 . 聖霊の性質 : b . 聖霊の人格性

1. 聖霊の人格性
2. 男性名詞の使用
3. 誰か他の働きを想起させる
4. 三位一体の他のメンバーに栄光を帰す
5. 御父と御子との結びつき
6. ある個人的な性格の所有
7. 聖霊は、人であるかのように影響される
8. 道徳的行為や奉仕に従事される
9. 前述の考慮のすべては、ひとつの結論に導く

4. 聖霊の教理の意味合い

1. 人格であり、曖昧な力ではない
2. 御父と御子と同じ栄誉・尊厳
3. 御父と御子とひとつである
4. 神は遠く離れておられるお方ではない